

## 開 会

委員長 ただいまから平成18年9月定例教育委員会会議を開催いたします。

## 会議録署名委員の指名

委員長 開会に当たり、本日の会議録署名人を瀧田委員にお願いいたします。

## 議案の提出

委員長 日程に従い議事を進めます。

本日の議題は議案1件、報告等4件となっております。

## 議案第51号

委員長 初めに、議案第51号「松戸市立博物館等資料選定評価委員会委員の委嘱について」を議題とします。

ご説明ください。

博物館長補佐 博物館館長補佐、信耕でございます。

議案第51号でございます「松戸市立博物館等資料選定評価委員会委員の委嘱について」、ご説明申し上げます。

お手元に松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱をお配りしてございますが、第1条に設置目的が、第2条に所掌事務がうたわれております。当委員会は、松戸市立博物館及び松戸市戸定歴史館が行う資料の収集に関し、資料の真贋、価格の適否及び寄贈・寄託の受け入れ、または購入の適否に関しまして学識経験者の意見を求めるために設置しております。

第3条の構成についてごらんいただきたいと思います。条文を読ませていただきますと、「委員は学識経験を有する者の中から教育委員会が委嘱する」となっております。

提案理由でございますが、松戸市立博物館等資料選定委員会設置要綱第4条に、委員の任期が2年でございます。現在の博物館等資料選定評価委員会の委員がことしの9月30日をもって任期満了となりますので、別紙のとおり委嘱したいと考えております。

なお、歴史がご専門の佐藤常雄先生が、ことしの5月にご逝去されましたので、同じく歴

史がご専門である駒澤大学教授の久保田昌希先生に新規にお願いするもので、またほかの方につきましては再任をお願いするものでございます。

なお、任期は平成18年10月1日から平成20年9月30日までの2年間でございます。

以上でご説明を終わりとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

委員長 議案第51号につきましては、ただいまのご説明のとおりです。

これより質疑と討論に入ります。

何かご質問等ございますか。

根守委員 新任の駒澤大学教授の久保田先生が、歴史とありますけれども、日本史とか、専門分野をちょっとお知らせいただけますか。

博物館長補佐 日本史が専門分野でございます。

委員長 ほかに何かございますか。

昨年でしたか、かなりの資料等の購入がございましたね。これは博物館の方でしたか、それとも戸定館の方ですか。戸定館でしたかね。

お聞きしたかったのは、我々こういう会議に、なかなか委員会のことについて知る機会が少ないものですから、こういう機会に評価委員会の活動状況等について教えていただきたい、という趣旨です。

博物館長補佐 わかりました。一番直近では、平成15年1月と2月にございまして、徳川文武氏の所蔵資料の選定評価が行われております。これが一番最近に行われたもので、過去、合わせまして7回行われております。

委員長 もう1つお伺いしてよろしいですか。

選定評価委員というのは、いきなり本委員会に承認人事として上ってくるのではなくて、事前に博物館の方で検討されていることと思います。人選にあたり何か議論されたことがありましたらお聞かせ下さい。

博物館長補佐 今回、佐藤先生がお亡くなりになりました。久保田先生については同じ歴史の戦国時代からの詳しい方ということで、今回同じ久保田先生ということでお願いしてございます。一応同じ歴史でございますが、やはり分野も同じ形の方ということを考えております。

委員長 ありがとうございます。

質疑がなければ、これで質疑及び討論は終結にしたいと思います。

これより議案第51号を採決いたします。

議案第51号については、原案どおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議がないものと認め、議案第51号は原案どおり決定いたしました。

#### 報告等

委員長 次は、報告等です。

初めに、「戸定邸(旧徳川家松戸戸定邸)国重要文化財指定記念週間について」をお願いします。

戸定歴史館長 戸定歴史館の鈴木です。よろしくお願ひいたします。

戸定邸が本年7月5日付で「旧徳川家松戸戸定邸」として国の重要文化財指定を受けました。明治以降の建物で国の重要文化財を受けるとするのは、千葉県下では今回が初めてということでございます。

今後は、重要文化財として、ふさわしい環境を整えるとともに、PR等を確実にして、さらに来館していただけるように努力をいたします。ちなみに、畳、トイレ、それから看板等をリニューアルする予定でございます。

また、記念事業として、10月28日土曜日には戸定邸にて記念式典を行い、29日から11月5日まで、記念イベントとして観光協会及び市民ボランティアのご協力をいただき、文化財に親しめる催し物を実施する予定でございます。

なお、この期間中は戸定邸歴史館の入場は無料になります。

また、10月1日付広報まつどにおきまして、記念事業の詳細を掲載する予定でございます。もちろん先生方にはご招待状を差し上げて、ご出席を願いたいと思います。

きょうは、指定書を一応お持ちしましたので、見ていただければと思います。通常は1枚なんですけど、8棟が重要文化財に指定されましたので、2枚に分かれております。これは戸定邸の方に飾らせていただきたいと思いますと思っております。

教育長 どこへ飾るんですか。

戸定歴史館長 戸定邸の内倉近くに飾る予定でございます。

生涯学習本部長 入り口のところですか。

戸定歴史館長 はい、入り口付近ですね。

以上でございます。

教育長 本物ですか。複写ですか。

戸定歴史館長 これは実を言うと、これは複写でございます。本物はもう収蔵庫に入っているんですけども。

根守委員 これは複写なんですか。

戸定歴史館長 これは複写でございます。でも、この形で戸定邸に飾らせていただこうかなと思っております。もうほとんど変わらないんですけども。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。指定書なるものを初めて拝見しました。

それでは次に、「平成18年度松戸市根木内歴史公園開園記念企画展『戦国の城をさぐる』の開催について」をお願いします。

博物館長補佐 松戸市立博物館企画展示の開催についてご案内いたします。

本年4月に、松戸市の北部にございます根木内城跡が保存・整備され、根木内歴史公園として開園いたしました。この開園を機会に、松戸市立博物館では根木内歴史公園開園記念企画展としまして、『戦国の城をさぐる』と題しまして、企画展示を来る10月7日土曜日から11月26日日曜日まで開催いたします。

この企画展示を通して、戦国時代に築かれた根木内城の実態や中世下総地域の様子など、調査の成果をもとに明らかにするとともに、あわせて根木内歴史公園について紹介してまいりたいと考えております。お手元に本日お配りいたしました中に、10月7日のセレモニーがありますが、そのご案内状をお渡ししておりますので、当日、よろしくご出席いただければと考えております。

詳細につきましては、担当の学芸員中山からご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。

お願いします。

博物館学芸員 中山でございます。よろしくお願いいたします。

今回の展示は、今ご説明ございましたように、根木内歴史公園の開園に伴う記念企画展示でございます。根木内城というお城は、小金城というのは大変有名なお城で古文書や記録が多数残っておりますんですが、根木内城はゼロでございまして、では何を展示するかといいますと、幸いなことに公園としてまず残ったという、非常に広い面積が残されたということと、その様子をご紹介いたしますと同時に、若干の面積ですが発掘が行われました。チラシの表のページにも発掘の結果出てきた遺溝と呼ばれますが、障子堀なんていう珍しい堀

なんていうのも写真出しておりますが、そういった発掘、それから出土品でございますね、陶磁器類などを展示しようというのがもう1つございます。

それ以外に、根木内城直接には絡みませんけれども、先ほど申しました小金城を中心とした政治領域が戦国時代、形成されておりますので、小金領をめぐる政治的なやりとり、あるいはそのもとで庶民がどんな生活を戦時体制下でしていたのかといったようなことを、大きくとらえることで、逆に根木内城を浮き彫りにしようという考え方を持っております。

なお、直接関連する資料として非常に珍しいものが、やはりチラシの表にございます国立国会図書館さんがお持ちの地図であります。何の変哲もないカラーの絵図なんですけど、これは千葉県下で戦前測量された唯一の城の図面でございます。ほかにないものです。こういったものをお借りしたりいたして、根木内城の姿を少しでも明らかにして、また公園に1人でも多くのお客様、市民の皆さんをぜひお出でいただけるようにしたいと考えております。

あと、これは余談なんですが、松戸市教育委員会蔵ということで、織田信長の古文書が2点出てまいりました。これも戦国時代なものですから、せっかくの企画でございますので、ちょうどタイムリーなものですから、根木内城が終わるのもちょうど信長が勃興してきた時期に当たりますものですから、あわせて展示をいたします。これはチラシの裏面にモノクロで刷り込んでございます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

この地図によると、根木内のお城のあったところというのは、何か目印になるものがありますか。

博物館学芸員 ちょうど真ん中に黒くて四角い升がございますけれども、ここによくごらんいただきますと「金城」と書いてある、これが小金城です。これは戦国時代の様子を色濃く伝える江戸時代の絵図だと思われるんですけども、その下に「新宿」という小判型の丸がございます。その左下に平仮名で「ねきうき」、「ねぎうち」じゃなくて「ねきうき」になっているんですけど、「ね」というのは神社の禰宜さんの「禰」ですね、「ねきうき」という言葉が入っています。つまり集落としての、村落としての名前はここに出てくるんですけど、これは下総の国全体の絵図なんですけれども、拠点的な城郭が27取り上げられておりまして、上の方には葛西城が出ておりますけれども、葛西の城と、同じような四角い升で。このクラスの大規模城郭は取り上げているんですけど、根木内城は残念ながら取り上げておりませんで、集落名として出てくるということになります。

委員長 ありがとうございます。

教育長 最近発見された信長の朱印状というのは、どのような経緯で発見されたのですか。

博物館学芸員 これは松岡壽旧蔵資料の中に入れておりました。松岡壽というのは先生方ご存じかと思えますけれども、5年ほど前に松岡壽展というのを、戸定歴史館を会場にいたしまして、洋画家、非常に著名な洋画家でございますが、そのご遺族の方、松岡壽さんご自身は戦中にお亡くなりになっていますが、そのご遺族の方から寄贈と寄託という形で資料をお預かりしておりました。

美術館準備担当がお預かりしておりましたんですが、たまたま私が当時勤務しておりました戸定歴史館の方に、その一部の資料、寄贈資料分が収蔵庫に入れておまして、収蔵庫の大片づけというか大掃除をするときに、私が手に持った資料というか、木の箱に「織田右府朱印」と書いてあったんです。織田右府といたら信長しかあり得ないので、中をのぞいてみたらどうもにせものとは思えないというので調査を始めましたところ、その2点の古文書なんです、織田信長の朱印状の本物であることが判明したということです。つきまして、その戸定歴史館で展示するという計画も昨年度あったんですが、タイムリーな企画ということで、こちらに変わったという経緯がございます。

教育長 松岡さんがどうして手に入れられたんですか。

博物館学芸員 松岡壽さんのご先祖はだんだんさかのぼっていきますと旧岡山藩士、池田輝政の初代の時代からの岡山藩士でして、それ以前に例えば図書館にある戦国人名辞典なんていうのに出てくるんですけれども、松岡九郎次郎という人がいました。その松岡九郎次郎というのは織田信長の直臣、家臣でした。馬廻衆ですから親衛隊ですね。それぐらいの人が、実は2点ある文書のうち、1点は松岡九郎次郎にあてたものなんですけれども、信長の家来でした。それからちょっと戻りますが、秀吉に仕えて最終的には池田輝政と、そして幕末をお迎えになって今に伝わってきたという経緯になります。

委員長 よく残っていましたね。

博物館学芸員 今まで学会では知られていない資料でございます。

もう1つ申しますと、「天下布武」という有名な朱印状が両方とも押されているんですが、そのうち1つは信長が初めて押した、永禄10年11月、今まで4点知られているんですが、5点目の新出資料になっています。

委員長 こういうのを発見したときの感激というのはどういうものですか。

博物館学芸員 いや、初めはにせものだと思ったんですけれども、どうも筆跡も書記官、祐筆

もわかったんですよ、そういう研究書がありまして。祐筆も一致するし、朱印の大きさも印文の形も間違いなさそうなので、専門の研究者に写真を送って、あるいは実際に来ていただいてごらんいただいて、これは間違いないだろうということになったんですが、余り感激というか、驚いてしまった方が先でございました。

教育長 祐筆のところに太田牛一と書いてある……

博物館学芸員 太田牛一は有名な祐筆ですけども、有名な「信長公記」を書いた人ですね。

それとは別に、もうちょっと無名の人で武井夕庵という人が書いています。

委員長 どうもありがとうございました。

それでは、次の報告3、「平成18年度音楽関係コンクール結果について」をお願いいたします。

指導課長 指導課です。

18年度の音楽関係コンクール結果について、ご報告させていただきます。

資料1枚目、(1-1)と書いてありますけれども、吹奏楽コンクール関係ですけれども、県予選の県の本大会の方に四中、和名ヶ谷中、一中、栗中、六実中、それから新北中が出場いたしまして、四中と和名ヶ谷中学校は中学校A部門で金賞を受賞しております。それから中学校B部門に出場しました新北中は、これから9月16日土曜日、これが千葉県文化会館で東関東大会に出場する予定になっております。

それから、3枚目になりますけれども、NHKの全国音楽コンクール予選にこれだけの学校が出ましたけれども、県の大会本戦、牧野原小学校、今年度は残念ながら銀賞というふうな結果になっておりますけれども、このような賞をいただいております。

それから、千葉県の合唱コンクールは第一中学校と六実中学校が金賞をいただいて、そのうち第一中学校は千葉県教育長賞、それから全日本理事長賞もあわせていただいております。

この2校につきましては、9月23日、宇都宮市の文化会館で関東コンクールが実施される予定になっております。

それから、マーチングコンテストで、和名ヶ谷中学校が中学校フリー部門で金賞をいただいております。今現在の結果はこのような形になっておりますけれども、この後TBSのこども音楽コンクールがまだ残っております、もう少し優秀賞が出ればいいなというふうにして考えております。昨年ほどの結果ではないんですけども、今年度も5校ほど優秀な成績を収めておりますので、またできれば受賞記念発表会を計画したいなということで、今努力しているところであります。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

そうですね、昨年はもう少したくさんあったような気がしました。でもこれだけ成果を出していただいて、どうもご苦労さまでした。

それでは、報告の第4、「平成18年県・関東・全国中学校体育大会の結果について」をお願いします。

保健体育課長 資料の方をごらんください。教育委員長さん初め、教育委員の先生方、市の予選から県大会等、お忙しい中ご視察、ご激励いただきましてありがとうございました。一応、プリントのとおり結果が出ましたので、ご報告いたします。

最初に1ページですけれども、これはそこに表題ありますように松戸市代表選手構成表ということで、数字がたくさん書いてあるんですけれども、右側の一番下のところに合計で582というふうにあります。トータル582名の生徒が県大会の方の代表ということで、ことしは予選会等を突破していったということで、ちなみに昨年が575名でしたので、人数的には若干ふえたということでございます。

2ページは、その内訳という言い方おかしいんですけれども、松戸市予選会の結果ということで、今1ページの表をつくるための結果が、2ページの方に記載してあります。ですから、例えば野球でいえば和名ヶ谷中学校、これが市の代表として県大会に行ったという意味です。団体は網かけというか、なっているところが代表として出場しました。

なお、陸上競技と水泳につきましては、個人ということですので、それも1ページ目の方の表には人数が入っていますけれども、記録で出場選手が決まってきました。そういうことでトータル582名が県大会に出場したという形になります。

3ページ目ですけれども、今度は県の大会の結果ということになります。例えば野球は和名ヶ谷中は残念ながら2回戦で敗退、1個飛ばしてバレーボールは男子の根木内中学校が3位、女子の第四中学校が3位ということで、太字は関東大会の方に今度出場したということでございます。

そういうことで見ていきますと、5ページに関東大会の結果一覧として載せてあります。7種目108名ということでございます。7種目108名が関東大会に出場したと。そこに結果が書いてあります。団体がバレーボール、ソフトボール、ソフトテニス、剣道、バドミントン。個人がソフトテニス、バドミントン、水泳、陸上というような形になっております。

その中で、後で次のページ、6ページに今度は全国大会の結果一覧がありますが、それと

比較してみますとあれなんです、個人の方で関東大会の方でいきますと、個人のバドミントンダブルス、関東大会で優勝、木村瞳、青木優子、第六中学校、ダブルスですね。それからシングルス3位、横尾さんですか、常盤平中。バドミントンでダブルスとシングルス。

それから水泳、水泳は個人種目ですけれども、その中の何種目か。それから陸上も同じような形で、種目的には全国大会に行ったのはバドミントン、水泳、陸上であるということです。

それで最後の6ページということで、出た結果がそこに書いてありますけれども、ご承知だと思いますが、バドミントンの方のダブルスで見事全国優勝ということで、木村さんと青木さんのペア。JR松戸駅の改札口と新京成の改札口の間、今横断幕が、祝優勝ということで、今月いっぱい掲示してあります、ごらんになった方もいらっしゃると思いますけれども。それから市役所の方も、本当は垂れ幕やりたかったんですが、ちょっと埋まっていたものですから、本庁舎と新庁舎を結ぶ通路があるんですけれども、その緑のカーテン、それをやっていたところのガラスに同じような形で祝優勝ということで、市民の方たちにも知らせたところなんです。それは今週いっぱいということなんですけれども。そういうことで、松戸市としても初めてなんです、千葉県としてもバドミントンのダブルス優勝は初めてだそうです。ということで快挙ということになると思います。

ですので、それだけじゃないんですけれども、そういったことで広く皆さんに知らせるということで、例えば総体予選、市内大会の結果等は朝日スポーツキッズというような、子供向けの新聞のようなものがあるんですが、それに載せたり、子ども新聞の方には全国・関東の結果とか、広報まつどは全国優勝の記事、これから出ます。それからもちろん市のホームページの方にも各種大会の予定とか結果と、いろいろな形でできる範囲で結果等を皆さんにお知らせしていくというような形になっています。

あと、今はダブルスですけれども、シングルスは2回戦の敗退ということです。ただ、この子はことし2年生ということなので、来年度また期待できるんじゃないかということです。

あと陸上、水泳については、個人種目ということですので、それぞれそこに記録等が書いてあります。準決勝進出もありますし、決勝で5位とか7位とかという男子のバタフライ、森谷君ですか、そういうような結果も一応残しております。あとはごらんいただければというふうに思います。

以上です。

委員長 ありがとうございました。

根守委員 バドミントンのダブルス、この2人はアジア大会に行くというようなことをちょっと耳にしたんですけれども。

保健体育課長 小中学校体育連盟とかの絡みじゃないんですけれども、何か東アジア大会というので、世界的なそういう大会があって、そちらの方に出場すると。

教育長 今度の3連休ですよ。

保健体育課長 今度の3連休あたりだと思います。そちらの方に出場だということで聞いております。文書等、こちらに来ておりませんので、詳しいことはよくわからないのですが、そんなような状況だそうです。

委員長 すごいですね。この2人が3年生なんですか。

保健体育課長 はい。

委員長 そうですか。全国大会で優勝するというのは、並大抵のことじゃないでしょう。六中はもともとバドミントンが強いんですか。

保健体育課長 強いですね、六中とそれから常盤平中ですね。歴史があるところです。この子たち、小学校のときからもう、松ヶ丘小の出身なんだそうです。小学校のころから社会スポーツの方でも、今も何曜日かちょっとわからないんですけれども、夜、大人と一緒にやっているとかということで、ですからそういった意味では、小さいころからやっていたというような話は聞いております。

委員長 ほかのスポーツをやっている子供たちに、いい意味で刺激になってくれるといいですね。ありがとうございます。

ほかに何かございますか。

(「なし」の声あり)

委員長 なければ、その他に移ります。

その他

委員長 きょうは進行が少々早いですが、「次回の教育委員会会議の日程について」お諮りします。事務局、お願いします。

企画管理室長 平成18年10月定例会でございますけれども、10月12日木曜日、午後2時からこちら5階会議室で開催するということでいかがでしょうか。

委員長 先生方、それでよろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 それでは、確認いたします。

次回教育委員会は10月12日木曜日、午後2時から、教育委員会5階会議室にて開催いたします。

閉 会

委員長 以上をもちまして平成18年9月定例教育委員会会議を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午後 3時32分

この会議録の記載が真正であることを認め署名する。

松戸市教育委員会委員長

松戸市教育委員会委員